

《令和6年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
近世唱導文芸研究会	平間 尚子
研究会名 略称:近世唱導	所 属:大正大学 非常勤講師
活動紹介	
<p>【活動内容】 近世唱導文芸研究会では、大正大学図書館に所蔵されている近世の唱導文献を対象として、資料の読解、および引用文献資料の流布や展開を研究している。</p> <p>昨年度までは、慶安四年に刊行された『類雑集』を中心に、本年度より『宝物集』(ほうぶつしゅう)を研究対象としている。『宝物集』の作者、平康頼(やすより)は、後白河院の近臣で鹿ヶ谷の議に参加し、俊寛らとともに鬼界ヶ島に流され、翌年許されて京都に戻った人物で、『宝物集』は、人間にとって仏教が宝であることを説いた仏教説話集である。『類雑集』は、内典・外典等からの抜書きを分類配列した、類書である。大正大学図書館蔵『類雑集』の翻刻を全巻終了し、令和2年度より『類雑集』の出典研究を進めている。本研究会は、本学教員、大学院修了者が所属し、連携を取りつつ研究を進めている。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など『除睡鈔——翻刻と研究——』岩田書院(大正大学総合仏教研究所叢書、第二十四巻、2008年)『類雑集』翻刻[一]～[十]、『大正大学総合仏教研究所年報』33号～42号(2011年～2020年)『類雑集』の出典(その1)『大正大学総合仏教研究所年報』43号(2021年)『類雑集』の出典(その2)『大正大学総合仏教研究所年報』44号(2022年)『類雑集』の動物表現(その1)『大正大学総合仏教研究所年報』45号(2023年)『類雑集』の動物表現(その2)『大正大学総合仏教研究所年報』46号(2024年)</p>	
<p>【令和6年度活動計画】</p> <p>今年度は、元禄本『宝物集』を研究対象にして、翻刻作業と注釈作業を進める予定である。その成果は『大正大学総合仏教研究所研究年報』47号に掲載する予定である。『宝物集』や『類雑集』がどのように生成され、用いられてきたのかについて、分析と考察を進め、研究発表できるように準備を行いたい。</p>	